

## 第 35 計；目的達成に手段を選ばない。

—日本の武士道精神にはスパルタ国の兵士の精神と共通点—

この項目は少し長くなるので章別で書きます。

### 第一章 “中華思想” に “覇権主義” が追加されると？

これは私が色々な中国ドラマを見ている中で、中国ドラマに露出する或る「共通点」を発見したことに起因します。「中国人の英雄は目的達成に手段を選ばない」ということが解かったのであります。

“中華思想＝自己中心” に “覇権主義＝自信過剰” が追加された時に生じる現象であります。あらゆる権謀術数を使います。その中には“裏切り” もあれば “騙し” もあれば、“狡さ” もあれば、“残虐性” もあれば、“復讐”・・・もあります。勝者が絶対者なのです。正に中華思想そのものであります。従って“賢者” は “狡さ” を持っているという事が言えます。“忠誠心” は “仁徳” ではなく “残虐性” で従わせる。“裏切り” と “騙し” は “戦法” である。“復讐” は “快感” で王に成れるという事である。王に成れば “万歳 (ばんざい)” なのであります。

万歳は日本語の意味は勝った喜びの歓声であります。中国では王様に接見する時使う言葉で王様「万歳・万歳・万万歳」という意

味であり、「王様はいつまでも長生きしてください」と王を称える言葉であります。王を超えて神になったのは、“義勇”をもった三国志の“関羽”だけです。神になるとご利益（りやく）を求める人々に祈られるのであります。

中国人は成語故事を子供の頃から教育されていますが、“臥薪嘗胆（がしんしょうたん）”を現在の中国人は、あまり知らないと思います。このことは、日本人も同じであります。“臥薪嘗胆”は日露戦争の時に日本政府が国民に向けた謂わば宣伝用語です。国民に節約を呼びかけた言葉なのであります。この時、後の大蔵大臣で当時日銀副総裁の大隈重信が“リーマンブラザーズ”の前身にあたる会社からお金を借り戦費を調達しました。返済原資が現在の日本国の相続税の起源であったのも興味深い事実であります。

## 第二章 日本の“武士道精神の例示その1”

現代中国に於ける中国人の男女平等主義と日本人の男女平等主義では未だ相違点が存在します。現代日本には“女性が男性を前にたてて、控えめにするという文化”がありますが、中国都市部では男女同権で仮に女性の能力が男性を上回ると、中国の男女平等は女性が前に立ち、男性が後ろに引き下がるのであります。中国人女性の

生活能力は凄いということの表れです。どちらの国の若い男性も、あの新渡戸稲造さんが書いた“武士道”の本を読めば「勝利できる」と思います。それは、日本の老人には武士道精神が今も残っていると実感するからであります。

日本の武士道精神は古い日本人男子の“究極の愛”であると言えます。平時は「身だしなみなど気にせず、自己に厳しく鍛錬し、目上の人と接する場合には礼儀正しく、困った人にはいたわりの気持ちで接し、年下の人には国境を越えて博愛主義で助け、訪問者には“一期一会 いつも出合いを大切にし”、訪問者で困った人には自分の経費を節約しでも接待する。」ということです。

古来日本の武士社会の勝負おける礼儀作法では、戦争で負けた場合、負けた王は白装束で“家来と家族と住民”の保護を勝者の王に依頼し“切腹”する。その切腹の勇気と礼儀に勝者の王は一言“見事”と言って約束履行を誓うのであります。日本人は顔の表情に無念さ・復讐心を見せず、非常に厳粛な儀式として執り行います。

見守る武士達も平時の儀式用の正装で静かに見守ります。“死んで去る者”と“生かされた者”との“心と心の誓い”なのであります。それが、切腹前に書かれた、“和歌(古代の短い心の詩)”が“辞世の句”

といわれることに関連します。以心伝心であります。勝者の王に残虐性の心がないということです。

### 第三章 武士道精神の例外 “忠臣蔵”

ただ一つだけ日本の“武士道精神”の例外があることも事実です。若き赤穂の王(大名)である浅野内匠頭長矩王が切腹の時「余は無念じや」と王の故郷の家老(中国では丞相)大石内蔵助に伝えてくれました。王が侮辱(おじょく)されたのです。

拝金主義者の吉良上野介に江戸城に天皇の使者を迎える儀式で二人の接待係の一人に選ばれた若き赤穂の王が、辱(はずかし)めを受けたのであります。吉良上野介への別の接待係の王に比べ賄賂の金額が少なかったのです。「すぐに補修をしろ・・・」全て浅野家の家臣は王を守る為努力をしたのでありますが、殿中(江戸城 中国では紫禁城)という位置づけは、例えば中国の神聖なる紫禁城で西太后の誕生日に接待係を拝命した地方の王が接待の仕方を指導する別の王(先生)に刀を抜いて斬ろうとしたようなものです。接待係の王の作法指導を担う先生は、忠臣蔵では吉良上野介であり室町時代の足利将軍(将軍は中国語では丞相 三国志の曹操と同じ地位)とは親戚にあたる人物であります。その人物に赤穂の王が接待の仕方を“西太后の

好きなお茶は緑茶であるのに、紅茶を出しなさい”と指導されたようなことなのです。流石にこれには若き赤穂の王も腹が立ち殿中で刀を抜くという経過を辿ります。日本にも面子主義は残っていたということではありますが、結果として赤穂の武士は全員失業し、主君の無念を晴らすべく家老の大石内蔵助の指導の下、見事に吉良幸之助の首を取り仇討したのであります。従って赤穂浪士は義士と呼ばれます。最後 47 人全員切腹の儀式に招待されたのであります。

日本の武士道の切腹は厳粛な儀式であります。正義の武士に“勝者の法律違反”で自殺の機会を与える最高の儀式と解釈されます。従って、単なる自殺ではありません。“姦通罪”にあたる女性、例えば夫を裏切って、浮気を知った夫から即時に刀で首を斬られるのとは異質なのであります。(因みに刀で妻を斬った男は無罪である。)

日本では“忠臣蔵”と言われ、がNHK日曜日の大河ドラマでよく採用されたり、年末になると必ず何処か局で放映されるものです。

#### 第四章 日本の“武士道精神の例示その2”

—日本国の国営放送と中国国営放送の違い。—

NHKは日本国の国営放送であるので客観的・中立的に事実を伝えることが法律で義務付けられています。その結果、受信料は日本

国国民が支払う義務となっています。つまり日本人は有料で国営放送を見ているのであります。一方、中国で国民は、中国中央テレビに受信料を支払う義務はありません。中国国営放送は国民に無料で情報を提供しているのです。

また、NHKには視聴が義務付けられていません。従ってNHKはあくまでも日本国国民に武士道精神を求めているのであります。誤報はすぐに自ら公開し謝れば許されますが、もしも、正義感・倫理観のない放送をするとNHKの総裁までやめなければならない。

その点、日本国の民放には視聴率競争があります。スポンサーのご機嫌をとりつつ事実を面白可笑しく放映している。謂わば、江戸時代の大衆文化であります。私は、中国の道教にあたるように感じます。“飲食・男女・旅行”正に庶民の生活文化であります。

私は、民放を楽しむのはよいにしても、事実が解らない事件で、極端な日本人が政治家の個人批判はやめてほしいとも思っています。政治家は日本国の現在と未来の国民の幸せを願う気持ちで国のかたちを創るのが使命だと思うからであります。

## 第五章 日本の武士道精神の例示その3

### — 武士の情け —

武士道精神には“武士の情け”ということも含まれます。人間には長所もあれば欠点もある。失敗のない人間はいない。もしその人が裁判で無罪であれば日本人の誰が責任を取るのか“検察起訴”は推定 99%有罪、“検察審査会の強制起訴”は“99%推定無罪と言われるていることをご存知でしょうか。

## 第六章 武士道精神と覇権主義がぶつかり合うと

その昔ヨーロッパの歴史上ギリシャ国の最盛期の時代に、ギリシャ国の国王が隣国のスパルタ国に使者を送りました。ギリシャの使者が伝えたギリシャ国王の意向は「属国になれば厚遇する。しかし属国にならなければ戦争を仕掛ける」と言った内容です。その時、スパルタ国の王は一言だけ答えました。その言葉は“ I F ? もし？”でありました。

ギリシャはスパルタを攻めなかった。スパルタ国の兵隊はどんなに叩かれても痛いと言わなかったといえます。私の昔読んだ童話本での記憶であります。日本の武士道精神にはスパルタ国の兵士の精神と共通点があるものと思慮されます。

日本が戦後奇跡の経済復興を成しえたのは、この統制のとれた国民一致団結の武士道精神があったからだという海外の人々もいます。

どんなに円高になっても、日本企業が独自の技術開発で努力をしたことも、その要因であると思います。しかしながら、現在の円高は異常です。子供手当などよりは、政府発行の“千円硬貨”を創設し、支払ったらいいと思うのであります。日銀発行の千円紙幣ではない“千円硬貨”は日本国内でしか通用しないもので・・・。

中国は異常なほど元を発行し元高を止めています。そして中国輸出企業を保護しているのです。

私は、英知と理性のある世界の自由貿易が壊れかけているような気がしています。

## 第七章 中国には相続税がない

皮肉にも古代覇権主義国家のギリシャが、現代中国に経済的に助けられている。またアメリカも国債を中国に買ってもらっている。アメリカには相続税制度があります。日本にもあります。しかし中国にはないのであります。上層部が金持ちなので相続税導入に極めて消極的だからです。私は常々、中国に相続税が導入されて、貧富の格差を解消すればとも思っています。

2010/10/24 2010/11/23